



# 立根小学校の校庭に遊具を設置

## ジャングルジムと雲梯を寄贈

岩手県大船渡市は児童公園が少なく、ここ立根(たっこん)小学校では、校庭の遊具が放課後の子どもたちの遊び場でした。東日本大震災後、財政難から被災地の子どもたちの遊ぶ環境が整っていない状況を知り、遊具がほとんどなかった立根小学校に遊具を贈ることを決めました。私たちは、子どもたちにどんな遊具が必要なのか、子どもたちの思い描く理想の遊具は何なのか、子どもたちの生の声に耳を傾け「遊んでみたい!」という夢を叶える支援ができるようアンケートを実施し、その結果第1位ジャングルジム、第2位雲梯の2基を贈ることにしました(2ページ参照)。

さらに、2017年10月8日・9日「自由が丘女神まつり」、2017年10月17日「チャリティーゴルフコンペ」、11月11日・12日「玉川大学 コスモス祭」、12月17日「えまおゆうのクリスマスデザインショー」などを企画し、これらのイベントにみなさまが参加してくださったことと、多くの協賛企業のお力添えをいただき「校庭に遊具を復活さ

## 「校庭に遊具を復活!プロジェクト」



「みんなで何人のぼれるかやってみよう!」

せる!』という子どもたちの夢を叶えることができました。ありがとうございます。元、校長室で行われました。児童代表として7人が出席し、児童会長の蕨野孔思くん(6年生)に目録を手渡しました。今回贈ったジャングルジムと雲梯はすでに設置が済んでおり蕨野児童会長は「ジャングルジムで遊ぶのは初めてで楽し

遊具の贈呈式は、2018年4月24日。児童夢基金から青柳理事と高橋理事が岩手県大船渡市立立根小学校(児童数193



児童会役員5・6年生と校長先生

しかった。これからも寄付してくれた人たちに感謝しながら楽しく大切に使用したい。」と笑顔を見せてくれました。

また、校長先生は「怪我をしないよう学年毎にルールを決めて遊ぶようにしました。」と全校みんなで話し合ったことも教えてくださいました。



体育の時間も楽しくなるね

### 遊具寄贈に協賛いただいた企業一覧

医療法人社団水天宮前歯科医院 (株)ブラザーズ 株式会社つばめ 一般社団法人すごい会議 株式会社ソーケン 株式会社中川ワイン 株式会社かに道楽 株式会社幸楽苑ホールディングス (株)茨城ハッピー食品 株式会社心斎橋ミツヤ 株式会社ディアーズ・ブレイン 株式会社プラネットワーク 株式会社4C 日本ポーセリンペインターズ協会 (株)美濃吉 グローバルスカイ・エデュケーション株式会社 株式会社人形町今半 有限会社長浦製作所 サンレール工業株式会社 株式会社福しん 沖縄ワタベウェディング株式会社 (株)ビーエム えまおゆう 一般社団法人児童夢基金 以上

今回、遊具寄贈に協賛いただいた団体、法人のみなさまに、子どもたちの夢をいつまでも見守っていただきたいという気持ちから、ご希望のネームを遊具に入れさせていただきました。



# 遊具を知らない子どもたち

東日本大震災後、校庭にあった遊具は撤去され、仮設住宅が建設されました。震災から7年が経ち仮設住宅が撤去された校庭はそのままで、遊び場としての機能を失いガラんとしたままです。そのため小学生は「遊具」で遊んだことがなく、見たこともありません。

でも活用され、子どもたちの運動能力の向上を担う大切な役割も果たしている。と教育者は重要視しています。そこで、子どもたちの生の声に耳を傾け「遊んでみたい」という夢を叶える支援ができるようアンケートを実施しました。



子どもたちに聞く!  
どんな遊具で遊んでみたい?

アンケート集計表

学年(児童数)	じゃんぐるじむ	うんてい	すべりだい	のぼりぼう	たいやとび	ぶらんこ	てつぼう	計
1年生(34)	28	19	11	15	17	5	7	102
2年生(31)	30	18	18	14	9	3	2	94
3年1組(22)	21	12	10	14	5	2	2	66
3年2組(20)	18	14	14	5	7	2	0	60
4年生(22)	21	16	10	15	1	2	1	66
5年生(26)	26	19	17	6	3	7	0	78
6年生(37)	32	24	21	21	5	8	0	111
計(192)	176	122	101	90	47	29	12	577



子どもたちにとって遊具は様々な能力を養う大切なものです。遊ぶだけで体力や運動能力がアップするだけでなく、遊具を通じた遊びは、心の発達、創造性、主体性も向上させ

分だけの空間として上ったり。ドキドキ、ワクワクの楽しさはいっつの時代も一緒です。また、遊具は体育

アンケート用紙 見本

そのアンケートの結果が下表です。この結果、立根小学校には投票数第1位ジャングルジム、第2位雲梯を贈呈いたしました。

## 贈呈式 報道各社より



遊具贈呈式の様子は、報道各社の取材を受けました。東海新報、岩手日報は4月25

日の朝刊で、岩手朝日テレビの取材は4月24日夕方のニュースで報道されました。掲載新聞の詳しい内容は児童夢基金のホームページでご覧いただけます。

震災で悲しい思いをした子どももいると思うが夢を諦めないでほしい。自由な発想で上ったり下りたり基地にしたり好きに遊んでもらいたい。大人になったときに誰かのために何かをできる力を蓄えてくれるといいですね…。 青柳 談



小学校に遊具を贈呈



校は「復興のシンボル」となる遊具を希望されていました。山下副校長は「ジャングルジムが寄贈されたら生徒たち

## 夢 「校庭に遊具を復活!プロジェクト」

「子どもたちの夢を叶える」というプロジェクトにご理解、ご協力いただき心から感謝申し上げます。この第2弾となる「校庭に遊具を復活!プロジェクト」は、8月のチャリティ公演(4ページ参照)にみなさまが足をはこんでいただくことで達成されます。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4月24日、立根小学校の遊具贈呈式の後、車で2時間半走り、次の支援先候補である岩手県下閉伊郡にある山田町立山田南小学校を視察しました。今年1月に仮設住宅が撤去された校庭には、まだライフラインが埋められており、今年8月にはその撤去作業が終わり、夏以降によりやく校庭開放の予定だそうです。山田町では震災後、大火事もあったことから、震災前には300名以上いた児童は現在147名という現状です。そんな中、山田南小

ちはきつと喜ぶことだろう。」と意気込み岩手県教育委員会、山田町教育委員会の方と共に今後の予定を話し合うことができ、今秋のジャングルジム設置に向けて前に一歩進めました。



## 第2弾が決定しました!



新しい机とイスでの授業風景

贈呈式は、今年1月、全生徒の前で帰国したパンチャ兄弟(チャリテイコンサート)に楽器演奏で出演の参加で催されました。これまで多くの子どもたちが敷物もない床に直に座って厳しい寒さに耐えながら授業をしていました。しかし、(机とイス)の寄贈に

2017年5月13・14日、銀座・博品館劇場で開催された「Bridge of the Rain Down」世界の子どもたちが笑顔でありますように〜」チャリテイコンサート収益によりネパール・サララヒ村「パンチャイサカ学校」に寄贈された(机とイス)と(鉄棒)の写真が届きました。



鉄棒で遊ぶ子どもたち



机の端には主催の児童夢基金とLAFFOOの名前が貼られています



る(鉄棒)も設置されました。使い方がわからなかった子どもたちも、すっかり慣れ愉しんでいる様子が写真からも伝わります。ご来場頂きましたお客様、ご協力頂きました出演者様、各関係スタッフ様に心より感謝申し上げます。

よって、そこから解放されたことを校長先生はじめ先生方、子どもたちは大変感謝していただきました。今回の寄贈で約150〜180名の子どもたちが正しい姿勢で学べることになったのです。また、校庭には運動具や遊具としても活用され

今回のチャリテイコンサートの開催も決まりました。皆様には是非、積極的にご協力頂きたく、次ページにお知らせを掲載しております。今後とも児童夢基金の活動をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

※ネパール大震災で被災したパンチャイサカ学校には、2014年チャリテイコンサート(児童夢基金とLAFFOOの共催)で、井戸とキッチンを寄贈しました。



2018年 2月18日

全国的障害特別支援学校高等部サッカー選手権へ視察に行きました。グラウンドはパノラマ撮影したくなる素晴らしい会場です。エントランスでは、県内からの出店やゲームコーナー、アンブレティ、ブラ



2017年 12月24日

日本障がい者サッカー連盟のイベントに参加しました。北澤豪会長の熱い人柄にプロもボランティアも躊躇なく全力でサポートし、障がい児も健常児も1つのチームで戦っている姿が印象的でした。私たちは車椅子やアンブレティサッカーなどを体験させてもらいました。



あれだけのスピードで戦える子どもたちに感動しました。

サッカーなら、どんな障害も超えられる

後日グラウンドスラムを達成し世界ランク1位となった国枝慎吾選手を育成した丸山弘道コーチからユニフォームとボールが届きました。



ネーム入り 試合用テニスボール

視察日記

2017年 12月16・17日

「第3回 ドリームカップ 車いすテニス選抜ジュニアチーム戦」が、つま恋リゾート彩の郷で開催されました。2020年の東京オリンピックの夢を抱きながら、コートでボールを追いかける選手たちに試合用のボールを寄付いたしました。

子どもたちが 未来へ希望をもち、生き生きと夢を描くために!



「もう一つの高校選手権2017」

## イベント活動

2017年10月～2018年4月

## イベント活動 と 支援先のご報告

以下のイベント活動でのみなさまのお心は、下記への支援先へ役立たせていただきました。ご協力に感謝いたします。

### 10月8日・9日 自由が丘女神まつり(ブース出店)



「このお店には掘り出し物があるから。」というリピーターのお客が多くいらっしゃいました。売り場に設置した夢ボーイの顔出しパネルも大人気。今年は協力メンバーの川平慈英さんのステージも盛り上がりを見せました。

### 10月17日 チャリティーゴルフコンペ



西東京ゴルフ倶楽部にて参加人数26名による初開催のチャリティーゴルフコンペ。コース内にOB、池などのペナルティ募金を設定し、参加者をドキドキさせながら募金活動にご協力いただきました。プレー後には、懇親会も開催しました。

### 11月11日・12日 五川大学 コスモス祭 (ブース出店)



色とりどりの手作りの作品を販売するかたわらに、新作「はらぺこモンスターゲーム」がデビューしました。思いの外に好評をいただき長蛇の列ができる大反響でした。これからもご最良いただけますように。

### 12月17日 チャリティーディナーショー (ゲスト:えまお ゆう)



クリスマスソングメドレー、シャンソン他名曲の数々は手拍子で盛り上がり、また、えまおさんの温かく豊かな人柄がわかるトークでは、感激して涙するお客様も多くいらっしゃいました。

## 支援先

東日本被災地域・岩手県大船渡市立 立根小学校へ遊具(ジャングルジム・雲梯)、車いすテニスジュニアへ試合ボール、障がい者サッカー連盟へ大会活動費 以上

### これからの寄付先

岩手県山田町立山田南小学校の遊具支援、車いすジュニアテニス支援、ネパール・パンチャイサカ学校支援が決定しています

児童夢基金では、支援金へのご協力だけではなく、さまざまなサポート方法を広く受け付けております。詳しくはホームページをご覧ください。

### 《 支援金振込先 》

- 【 金融機関 】 みずほ銀行小舟町支店
- 【 店 番 号 】 105
- 【 口座の種類 】 普通口座
- 【 口座番号 】 1316165
- 【 口座名義 】 一般社団法人児童夢基金



### 【編集後記】

保育園でパート勤務を始めました。子どもたちとの遊びはめぐるしいです。彼らの想像力と心はグルグル、ドンドン変化していくからです。そんな世界を体感していると遊びは未来につながっていると痛感します。遊びって大切です。大久保

是非、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

8月15日(水)・16日(木) 子どもたちの夢がかないますように！  
Bridge of the Rainbow 2018  
ミュージカルスターたちの魅惑のダンスや歌やタップに加えて、落

※各イベントとも詳細、お問い合わせ、お申込みは、(社)児童夢基金ホームページ、オフィシャルFacebookをご覧ください。

6月4日(月) 第2回 児童夢基金チャリティーゴルフコンペ  
富士国際ゴルフ倶楽部にて、OB、池ポチャなどにペナルティ募金を設置します。

語、民族楽器演奏など多彩なプログラムをご用意しました。この夏は暑いステージでみなさまをお待ちしています。チケットは絶賛発売中。お申込みお問い合わせは児童夢基金まで。

## チャリティーイベントガイド

<http://yumefund.org>

これまでと今からの活動内容、総会・実行委員会の議事録、募金状況、サポート方法など、詳細、お問い合わせは、児童夢基金ホームページをご覧ください。

日頃より  
児童夢基金へのご協力を  
心より感謝いたします

子ども  
たちを  
応援  
したい方



支援を  
受けたい方